



信篤三つ葉学園
市川市立高谷中学校

学校だより2月号

輝く若木



令和7年2月 6日



学校 HP

信篤三つ葉学園★取組の紹介

信篤三つ葉学園の取組も、今年で三年目となりました。信篤三つ葉学園は、施設分離型の小中一貫型小・中学校です。これは、文部科学省の推進する小中一貫教育の取組で、小学校から中学校までの学びをつなげることで、子供たちが安心して成長できるしくみです。小中学校の先生たちが連携し、児童生徒一人一人の成長に合わせた指導をすることで、学ぶ楽しさや自信を育てることを目的としています。また、9年間を通して友達や先生とのつながりが深まり、思いやりや協力する力も身に付きます。小学校から中学校への変化もスムーズになり、安心して自分の力を伸ばしていけることが大きな魅力です。

信篤三つ葉学園では、これまで、先進校に学びながら取組を模索してきました。今回は、中学校の教員が小学校で授業を行う乗り入れ授業と、6年生の児童が中学校の日常を見学する中学校見学の様子をお伝えします。

★★乗り入れ授業の実施★★

今回の乗り入れ授業では、信篤小学校で、国語と数学(算数)を実施しました。

国語の授業者は第3学年の林教諭、数学(算数)は飯野教頭です。

国語は、教科書6年下の「ぼくの世界 君の世界」で哲学について学んだ児童たちに、哲学対話の実践を行いました。対話のテーマは「中学校」です。

「勉強と学びの違いは？」「もし世の中に学校というものがなくなったらどうなる？」など、身近な話題を取り上げ、答えのない問いに挑んでもらいました。

「勉強は教わるもので、学びは自分で考えることかな」「学校がなくなったら原始時代になっちゃう」など、小学生ならではの発想で、たくさんの意見が出ました。

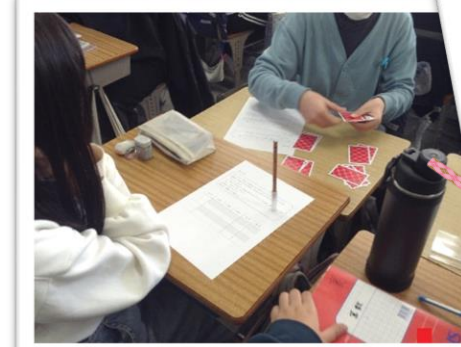


数学(算数)では、まず、ICTを活用したアンケートを行いました。メンチメーターというツールを用いて、クラスの回答が即時に共有できるようになっていたのも、児童たちは歓声を上げながら取り組んでいました。

学習内容は、正の数負の数の計算です。黒いトランプは正の数、赤いトランプは負の数として、ババ抜き

の要領で、合計点数を競います。
トランプを使った学習なので楽しんで学ぶことができました。

中学校に向けての心のハードルが少し下がったのではないのでしょうか。



★★中学校見学★★

2月4日(火)には、中学校見学が行われました。児童たちは、真剣に学ぶ中学生の姿を、興味津々で見学していました。

高谷中学校に来る人も、そうでない人も、それぞれに、中学校のイメージをもつことができたのではないのでしょうか。



今後も、様々な活動を実施し、お伝えしていきたいと思います!



学校図書館長おすすめ

これ、読んでみて

『藍を継ぐ海』 伊予原 新 著/新潮社

第172回直木賞を受賞した『藍を継ぐ海』を紹介します。

作者の伊予原さんは、地球惑星科学がご専門で、東京大学大学院で学んでいたそうです。その経験から、科学を題材とした小説を書き始めるようになったということです。

「科学」と聞くと少し難しそうに感じる人もいるかもしれませんが、伊予原さんの文体はとても優しく、内容も日常と繋がっているのも、楽しくすらすら読むことができます。この本を読んで、将来、研究者を目指す人が出てくるかもしれませんね!

本を読もう

もっと、もっと本を読もう



3年生は公立高校の本検査、1.2年生は学年末テストがあります。体調管理をしっかりと臨みましょう。行事予定はQRコードからご確認ください。

